

J R 東海労
大二運分会

交差点

No. 411
2014年5月15日
責任者：高原弘幸
発行：教宣部

営利優先・運行優先から安全第一へ！

JR福知山線脱線事故から9年！
「責任追及」から「原因究明」へ
強権的労務管理を許すな！

4月25日、107名の命を奪い、562名の負傷者を出したJR福知山線脱線事故から9年を迎えました。

私たちJR東海労大二運分会は、JR西労、東労組、貨物労組の仲間と共に事故現場に赴き、追悼と慰霊、そして「営利優先・運行優先」から「安全第一」へ企業体質の創造を誓い、発生時刻の9時18分に黙祷を行い、献花を行ってきました。

その後、JR西労主催の『JR福知山線脱線事故から9年 経営陣の経営責任追及！「営利優先・運行第一・社員への責任追及・労使癒着」の不安全な企業体質を一新する集会』に、ご遺族の方もご臨席頂き開催されました。

集会には、韓国大邱地下鉄労組の仲間たちとその事故の被害者も参加され、それぞれ挨拶を頂きました。集会に先立ち韓国旅客船セウォル号沈没事故の犠牲者の冥福も併せて黙祷を行いました。参加者からは、いずれの事故も営利優先の企業犯罪であることが述べられ、安全確立に向けて共に闘って行くことを全体で確認した。どの企業も営利優先で安全軽視となるものだが、それに歯止めをかける労働組合が必要であり、責務である。JR東海においても、リニア建設を前提として徹底した効率化とコスト削減を行って、営利優先、運行優先、による安全軽視を繰り返している。何か起きてからでは遅いのだ。私たちは安全軽視、営利優先、事故の責任を個人の責任に転嫁する会社の企業体質を許さず、責任追及から原因究明、安全確立に向けて奮闘していきます！

